

## 被表彰団体および個人

**環境大臣賞受賞者**

団体部門：和歌山市立こども科学館（和歌山県）

平成元年より全国星空継続観察に参加し、市民のための天体観察会を積極的に開催している。また、夜空の明るさの等高線を引いた「光害マップ」の作成や明るさの時間変化の調査など、独創的な活動を継続的に行っており、光害を中心とした環境に対する意識啓発に努めている。

個人部門：丹羽 蒼（愛知県）

長年にわたり、子供や親子を対象とした星空観察会を実施し、子供から大人まで楽しく学ぶための工夫を凝らしている。また、地球環境や自然環境を星空の解説に織り込み、大気汚染や光害の防止についての意識啓発活動に積極的に取り組んでいる。

**「星空の街・あおぞらの街」全国協議会会長賞受賞者**

団体部門：しなの星空散歩会きらきら（長野県）

継続的に独自の観察会を開催することのみならず、市立博物館の観望会への協力など、市民・事業者・行政とかかわりを持ちながら調査、啓蒙活動を精力的に行っている。また、長野市とその周辺250地点の夜空の明るさを継続的に調査し、行政の照明設置に関しての働きかけや、講演会の開催、パンフレットの作成など、光害の防止・啓発に積極的に取り組んでいる。

個人部門：磯辺 大暢（千葉県）

全国星空継続観察への参加や親子星空観察教室での講師を務める傍ら、NO<sub>2</sub>（二酸化窒素）の定点測定を継続的に行うなど、大気環境調査を実施し、その成果を発信しているほか、子どもたちへの環境教育を通じ、地域の人的資源確保にも取り組んでいる。